

土木の日 DOBOKU DAY NOVEMBER 18

11月18日は土木の日。

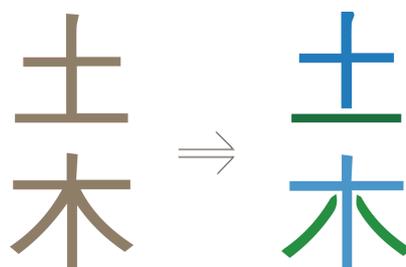


「土木の日、くらしと土木の週間」とは？

11月18日の「土木の日」から続く土木学会の創立記念日である11月24日までの1週間を「くらしと土木の週間」として、土木学会本部・全国8支部では、一般の皆様を対象とした各種イベント、活動を展開しています。

「土木の日」の由来

土木の2文字を分解すると十一と十八になることと、土木学会の前身である「工学会」の創立が明治12年(1879)11月18日であることから、11月18日を「土木の日」と制定しました。



「土木の日」および「くらしと土木の週間」の提唱

人類は長い歴史の中で英知と技術を結集して、水を治め、道を拓いて産業活動と国民生活に必要な社会の基盤を整えてまいりました。そして文化を育み、文明を築きあげてきたのであります。

我が国におきましても、国民各位のたゆまざる努力により、戦後の灰燼の中から驚異的な復興をなしました。現在では、世界屈指の経済的豊かさを持つに至っていますが、道路、上下水道、住宅、公園、街づくりなど、社会資本の整備、蓄積につきましても、欧米先進国に比べ格段に立遅れているのが実情であります。

これは我が国の置かれた歴史的・地理的条件や社会的背景などによるところが大きいと思われませんが、社会資本の重要性に対する国民の理解と認識が私ども土木界に身を置く者を含めて、必ずしも十分でなかったことも否めないところであります。

50年後、100年後に向けて、国民生活におけるアメニティーの向上、安全の確保、文化・福祉の促進に努力するとともに、豊かで、質の高い国土および生活空間づくりの推進が、私どもに課せられた重要な使命であると考えます。

この使命を果たしていくためには、関係者の努力はもとより、国民各層におかれても、土木との触れ合いを通じて、土木技術および土木事業に対する認識とご理解を深めていただき、社会資本整備の意義と重要性について幅広いコンセンサスを形成していくことが不可欠であると存じます。

これを具体的に進める第一歩として、土木学会は関係諸官庁および諸団体の御支援を得て、11月18日を「土木の日」と定め、続く本会の創立記念日である11月24日までの一週間を「くらしと土木の週間」として、この趣旨にふさわしい各種イベントを含めた特色ある活動を展開していくことにしております。

社会資本の整備という国民的課題を、国民の皆様と共に考えていく意義ある運動として、今後とも内容を充実させながら、全国的に活動を強化して、その高揚を図って参りたいと考えておりますので、関係各位の絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げる次第であります。

(1987年11月「土木の日」制定に当たっての土木学会の提唱内容)



土木の日 DOBOKU DAY NOVEMBER 18

2023年度「土木の日」のご挨拶



田中 茂義
土木学会 第111代会長
(大成建設株式会社 代表取締役会長)

11月18日は、「土木の日」です。漢字の「土」と「木」を分解すると、「十」「一」「十」「八」となること、土木学会の前身である「工学会」の創立記念日にあたる日ということで、1987年に制定されました。この時期には、土木学会の本部と全国8つの各支部が主催し、様々な関連団体の皆様にもご協力をいただき、数多くの土木の日関連行事が開催されます。それぞれの行事が盛大に開催され、多くの方々に土木のことを身近に感じていただき、土木の魅力を向上させることができればと思います。

土木学会では、令和5年度の会長特別プロジェクトである、「土木の魅力向上プロジェクト」を現在展開中です。このプロジェクトを立ち上げた背景としては、土木工学は人々の生活に深く関係しているにもかかわらず、社会からあまり評価されていないのではないかという問題意識があり、もっと様々な形で「土木の魅力」を発信し、世の中の皆さんに知っていただき、ひいては土木の地位向上に結び付けていきたいとの思いがあります。

今回のプロジェクトを通じて、「自分の言葉で伝える」ことの大切さを改めて実感しています。6月の定時総会の場で発表したコンセプトムービーに、土木学会会長として自らメッセージを発信しました。さらに、土木学会活動とこれまであまり関わりの無かった建設系ユーチューバーの皆さんとの対談動画に会長自ら出演するという取り組みも行いました。発信する方法や媒体についても、発信力のある方の力を借りる、また多くの方が見る媒体を選ぶなどして、様々な方に土木の魅力が伝わるよう工夫しています。

また、土木のステイタスアップを目指し、様々な分野で活躍する土木技師の凄さなどを再認識する活動も進めています。

土木の日を迎えるにあたり、土木に関わる皆さんが、「自分の言葉で」土木の魅力を様々な形で発信することで、土木工学のさらなる発展と、土木技術者の地位向上につながることを祈念します。

2023年度会長特別プロジェクト「土木の魅力向上プロジェクト」



コンセプトムービー「自分の言葉で伝える土木」
土木学会TVにて公開中



2023年6月から2024年5月までの1年間の任期で、会長特別プロジェクトを展開。
「土木の魅力向上特別委員会」（委員長：田中茂義会長）を立ち上げ、
土木の認知度向上と土木技術者の地位向上に取り組む。
具体的な取り組みとして、2つの小委員会を設置し、活動を実施。

委員会名：土木の魅力向上特別委員会
魅力ある土木の世界発信小委員会
土木のステイタスアップ小委員会



「dobokuTV」で情報発信中

